

件名	第21回 蒲田都市づくり推進会議	
日時	令和7年5月23日(金) 13:30~15:00	場所: 大田区産業プラザP I O 2階小展示ホール
出席者	22名出席(大田区代理出席1名、東京都欠席1名) 別途資料参考	
配布資料	第21回蒲田都市づくり推進会議資料	

◆開会

- ・鉄道・都市づくり部 拠点整備第二担当課長より、挨拶及び資料確認。
- ・座長の日本大学理工学部 土木工学科 大沢教授より開会挨拶。

◆出席者紹介

- ・今年度から新しく委嘱した委員として、蒲田大好き委員会 望月 康史 会長の紹介を行った。

◆資料説明(報告)

- ・鉄道・都市づくり部 新空港線・沿線整備担当課長より、新空港線第一期整備事業の進捗について説明を行った。(資料1)
- ・鉄道・都市づくり部 拠点整備第二担当課長より蒲田駅周辺再編プロジェクト改定についての説明を行った。(資料2)

(主な意見・蒲田駅周辺再編PJの改定について)

◆意見交換

森田委員)

東口地下自転車駐車場と、駅ビルは通路でどう繋がるのか。
⇒東口の駅ビルと地下で2か所接続する予定である。(大田区 蔵方委員)

藤田委員)

デッキレベルの回遊イメージの図について、東西連絡通路に比べて北側連絡通路が細く見える。回遊性をあげるためにも配慮いただけるとありがたい。自転車ネットワークについて、駅東西の行き来は環八か、呑川側道しかない。駅近とまでは言ないが、東西の自転車の通行について考えていただきたい。
⇒北側連絡通路は、人の流れや交通量を見ながら、幅員を検討していく。東西の自転車ネットワークについては、地下も含めて検討していきたい。駅周辺については、人中心の空間のため、歩行者の安全性も考慮しながら、東西のネットワークを検討していく。(大田区蔵方委員)

望月委員)

自転車ネットワークについては駅東西が分断されている。(デッキに)自転車がのれるエレベータ(以下、EV)が設置されると、移動しやすいのではないかと考える。
⇒EVの設置や、駅前広場を自転車押し歩きで往来するなど、検討をしていく。(大田区蔵方委員)

田中(彰)委員)

イベント時にアンケートを取ると、蒲田駅前に居心地の良いくつろげる空間がほしい。イベントを含めた駅前の賑わいが欲しいといった意見が多い。広場に緑が少ない。昨年まで、人工芝を設置したら、高校生が広場でくつろぐ様子が見られた。蒲田でもくつろげる空間を駅や、駅周辺に作っていただきたい。
まちづくりとして全体を考えたときに、さかさ川通りだけではなく、アプリコ前の道路も開発で歩道が拡幅されれば、駅からさかさ川通りまで歩いてもらえると思う。主要な動線をどう作っていくのか地元を含めて話し合いをする機会を作っていただきたい。
⇒広場の暫定利用を経て、駅前の憩いの場は大事だと感じている。駅周辺の共同化、開発などによる歩道上空地などとも連携し、駅、駅周辺の憩いの場を創出していきたい。さかさ川通りへとつながる道路については、歩行者ネットワークでは、歩行者が通行しやすい道路に設定しており、歩行者が歩きやすい空間に向けて、検討をしていく。(大田区蔵方委員)

⇒蒲田駅前は限られた空間しかないため、重層的に空間を使うことをポイントとしている。(大田区池田委員)

田中（常）委員）

まちづくり方針には駅ビルを中心としたコアの部分と、周辺をどう繋げていくのか 2 つのレイヤーがあると思う。自動車、自転車、歩行者のネットワークがしっかり検討されていないように思う。外から見たときに蒲田の魅力のアピールになるような、基軸が必要。ウォークブルにするというのは、道をつなぐ話だけでなく、ほこみち制度などを使って考えていくことと並行して考えていかないと、イメージが出来ない。ぜひ一緒にやってほしい。さかさ川通りは国家戦略特区として作り、広げていきたいと考えていたが、行政側の受け皿がなくなってしまった。どこに相談したらいいのか。ほこみち制度にシフトされるのか、ほこみち制度の将来像をどう考えるのか、この話もテーブルに上げてほしい。

東口の地下自転車駐車場は西口の人も使えるようになった方がよい。出来ないではなく、東西を自転車をつなぐことも考えてほしい。

⇒今回のネットワークは概念図を示しており、これから各モードのネットワークについて整理していく。（大田区池田委員）

⇒物流の考え方もしっかり整理してほしい。自動運転の話もある。将来の交通モードの変化も合わせて検討けるとよい。走行以外に、停める場所もセットで整理頂きたい。（大沢座長）

小山委員）

歩道上に座る場所がない。椅子がほしい。少し休める場所があると、高齢者も歩きやすくなる。京浜蒲田から JR 蒲田まで歩いて、バス停はあるが、座る場所が 1 つもない。

⇒ウォークブルを考えたときに、歩道は歩く機能だけでなく、滞留する機能も必要であると考え。まち中で滞留する空間をどう確保するのか、計画に反映していきたい。（大田区蔵方委員）

⇒滞留空間には緑被空間を合わせて検討頂きたい。夏は暑いので、気候変動を踏まえた休める空間を検討頂きたい。（大沢座長）

蔵方（庸）委員）

まちづくりについて、東口の軸は 2 本、西口は 1 本しかない。そうなると駅前の使い方や、動線も異なってくる。西口については、もう少し丁寧に書いてほしい。どのように西口を整備していくのか。

⇒西口については、街区道路が手狭なこともあり、開発後の駅前にくる自動車や商店街への荷捌き車両動線はどう考えていくのか、人の動線と相反して議論になってくる。東と西口では状況が違うので、頂いたご意見を踏まえて検討していく。（大田区蔵方委員）

宮澤委員）

高齢者、障がい者の方が歩きやすいまちづくりを目指していただきたい。高齢者と若い人では、歩く速度が違うので、危険とを感じる事がある。歩きスマホも危ない。

⇒歩く量ではなく、歩く質（速度）も考えてほしいという事だと思う。（大沢座長）

⇒今ある狭い歩行空間から、より広い歩行空間を確保し、早く歩く人、ゆっくり歩く人がうまく共存出来るような空間づくりを考えていきたい。ご意見は参考にさせていただく。（大田区池田委員）

⇒スマホに負けないような、沿道空間が出来るとよい。スマホを見ずに沿道を楽しめる沿道づくりを。魅力的なまちに繋がる。（大沢座長）

望月委員）

ラゾーナ川崎などを見ても、駐車場の駅ビル直結は必要不可欠だと思う。駅から離れたところに駐車場を作ってもだれも使わない。本来ならば、建替え事業者が行政と相談しながら駐車場を整備する必要がある。JR や東急にどうこの議論を投げかけられるか。この会議に出てもらうのも良い。人の流れ、自転車の流れ・駐輪、車の流れ・駐車について、当事者に聞いていただけるとよい。

⇒人中心の空間に対して、車をどう考えていくのか、将来ネットワークについては、本日頂いたご意見を踏まえて、自動車・自転車・人の解像度を高めて整理していきたい。また、蒲田のまちづくりの方向性の考え方を示せば、民間事業者に対して説明しやすくなると考えている。（大田区蔵方委員）

秋成委員）

自転車の東西移動に EV を使うのは 1 つの方法だと思った。通路を作るのであれば、にぎわうような店舗があると良いと感じた。駅のエスカレーターは二人乗り（横を走って通らないために）ではなく、一人乗りにしてもらう方法もある。ユニバーサルデザインのトイレがあるとよい。

森田委員）

西口南側の自転車駐車場が手狭になっているので、東急建替えと連携して、地下にも自転車駐車場を整備出来るるとよい。多摩川線が地下に入るのであれば、多摩川線に並ぶように地下を整備できるとよい。工学院側にある駐輪場の見栄えが良くないので、合わせて地下に整備できるとよい。（可能であれば）

⇒とめる場所（駐輪・駐車場）については、見栄えなども考えて、機能に特化しつつデザインも検討いただき

たい。(大沢座長)

大森 副座長)

東口に比べると、西口の検討が進んでいないように思う。新空港線が出来ると、改札や連絡通路など状況が大きく変わってくるので、歩行者動線を検討していく必要があると感じた。

大沢 座長)

移動手段のモードの在り方、とくに東西の自転車の在り方について検討頂きたい。各交通モード自転車、車、歩行者にわけて移動の在り方を整理頂きたい。他には、車いすなどの誰もが利用できる交通モードも踏まえて検討頂きたい。さらには、将来にどんなモードが出てくるのかも踏まえて準備をしておく必要がある。新たなモードが入ってくる前提も考慮頂く。物流も重要。公共空間を利用する移動手段のモードが変わりつつある事も踏まえながら提案頂きたい。走る以外にも、休める・安らげる場所、とどまる場所など、ウォークブルを実現するために時を費やす場所、土地利用についても検討頂きたい。

◆その他・閉会

- ・第21回蒲田都市づくり推進会議を閉会。

以上

当日の状況





【参考資料】

令和7年度 蒲田都市づくり推進会議 構成員名簿

(敬称略)

役職	区分	氏名	所属・役職等
座長	学識 経験者	大 沢 昌 玄	日本大学 理工学部 土木工学科 教授
副座長		大 森 文 彦	東京科学大学 環境・社会理工学院 准教授
委員	地元 関係者	小 山 君 子	蒲田東地区自治会連合会 会長
		藏 方 庸 光	蒲田西地区自治会連合会 会長
		田 中 彰 一	蒲田東口地区まちづくり協議会 会長
		藤 田 義 行	蒲田東口商店街商業協同組合 理事長
		森 田 充 浩	蒲田西口商店街振興組合 理事長
		望 月 康 史	蒲田大好き委員会 会長
		田 中 常 雅	蒲田再開発推進委員会 委員長
		宮 澤 勇	特定非営利活動法人 大身連 理事長
	区議会 議員	高 瀬 三 徳	まちづくり環境委員会 委員長
		秋 成 お さ む	まちづくり環境委員会 副委員長
	東京都	荒 井 大 介	都市整備局都市基盤部 交通企画課長 ※1
		桂 健 太 郎	都市整備局都市基盤部 街路計画課長 ※2
	大田区	池 田 中	鉄道・都市づくり部長
		谷 田 川 泰	鉄道・都市づくり課長
		藏 方 博 史	鉄道・都市づくり部 拠点整備第二担当課長
		吉 野 崇	鉄道・都市づくり部 蒲田駅拠点整備担当課長
		首 藤 拓 郎	鉄道・都市づくり部 新空港線・沿線整備担当課長
		梅 崎 修 二	企画経営部長
		西 山 正 人	まちづくり推進部長
		深 川 正 浩	まちづくり推進部 都市計画課長
中 村 誠	都市基盤整備部 都市基盤管理課長 ※3		

※1 オンライン参加者

※2 欠席者

※3 代理出席